

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆治安悪化懸念が過去最高9割 AI悪用犯罪への不安も拡大、セコム調査

・セコムが全国の20～69歳の男女を対象に実施した「日本人の不安に関する意識調査」によると、今後の治安悪化を懸念する割合は前年比1.8ポイント増の90.2%。2012年の調査開始以来過去最高を更新し、5年連続で増加。直近1年間で不安を感じた事件・事故では「闇バイトによる強盗」が23.6%で最多。AIを悪用した犯罪増加を回答した人は91.8%に上った。

◆熱中症の週間搬送者、今年初の1万人超え 総務省消防庁

・総務省消防庁は1週間に熱中症で救急搬送された人が、全国で1万人を超えたと発表。1週間の搬送者数が1万人を超えるのは今年初めて。総務省消防庁が公表した速報値によると、13～19日の1週間で熱中症で搬送されたのは1万857人だった。昨年の同時期に救急搬送されたのは4958人(確定値)で、2倍以上に増えた。

◆「ナフサ備蓄」8月にも対策 揮発性やコストが難題、限られる選択肢

・経済産業省が中東危機で供給が混乱したナフサ(粗製ガソリン)の備蓄に乗り出す。保管形態はナフサそのものやポリプロピレンなどの中間財、原油形態が浮上する。実現には揮発を防ぐ設備投資コストや在庫の抑制策が欠かせない。高市首相は「エネルギー需給構造強靱化のための総合パッケージ」を8月末までに策定するよう赤沢経済産業相に指示。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆家庭用蓄電池市場、「GX ZEH」27年度適用開始で拡大予想

・富士経済がこのほど公表した「家庭用蓄電池アグリゲータの最新動向調査」結果によると、家庭用蓄電池の累計導入出力容量は2024年度の約5000MWから拡大を続け、2040年度には2万4790MWに達する見通し。これに伴って家庭用蓄電池の調整力ポテンシャルは40年度に360MWに達し、24年度比で15.7倍に拡大すると予測。

◆石油化学製品が輸入超過に ナフサ高騰でエチレン調達14倍

・中東危機によるナフサの供給不安を受け、樹脂原料などに使う基礎化学品の輸入が急増。エチレンやベンゼンは10倍以上に増えた。高値が続くナフサに対し、中国や韓国から機動的に買える経済性が高まった。石油化学製品の輸出国である日本が輸入超過に転じている。中東危機下の3～5月のエチレン輸入量は前年同期比14倍、ベンゼンは28倍超。

◆中古+リフォーム、1割以上が税制優遇利用—国交省調べ

・国土交通省は2025年度住宅市場動向調査の結果を公表。今回から新たに、リフォーム促進税制(所得税)に関する調査を実施。既存(中古)住宅取得後にリフォームを行った世帯のうち、税制優遇の適用を「受けた」または「受ける予定」の割合は戸建てで14.7%、集合住宅では12.2%となった。税制優遇に対する関心が特に高い傾向がうかがえる。

《 注目商品 》

■パナソニック ハウジングソリューションズ、壁付けI型デザイン

・省スペースで効率的な動線の「壁付けI型レイアウト」のカウンターとエンドパネルを同一素材・40mm厚で一統一し、ゲート状に仕上げた美しいデザインに刷新。立ち上がりのバックガードをなくすことで壁面との境界線をシンプルにし、カウンターとの段差が少ない。



■ミラタップ、スチール製フレームの洗面セット

・コンパクトな洗面ボウルにオリジナルのフレームを組み合わせた洗面セット。スチールパイプ製のフレームは、丸みを帯びた柔らかな形状が特徴で、浮遊感のある優しい印象に仕上げた。フレーム下部はタオル掛けを兼ねる機能的なデザイン。



■永大産業、室内ドアをよりノイズレスに

・内装建材ブランド「スキスム」「マテリアルセクション」「デコルシェ」の室内ドアに、壁面とシームレスにつながるミニマルデザインの新アイテムを追加。「隠し蝶番」は、ドアを閉めると見えなくなり、枠に凹凸が生まれずシームレスな納まりを実現。

